

飯島賢二の 『恐縮ですが...一言コラム』

第 451 回 情報化時代の「5S活動」とは・・・

2011.12.18

「5S活動」、ご存知の方多いと思う。簡単に解説すると、**整理**（せいり）～いらぬものを捨てる。**整頓**（せいとん）～決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく。**清掃**（せいそう）～常に掃除をして、職場を清潔に保つ。**清潔**（せいけつ）～3S(前述の整理・整頓・清掃)を維持する。**躰**（しつけ）～決められたルール・手順を正しく守る習慣をつける、頭文字の5つの「S」・・・と言うことである。

これをただ言葉通り、そのまま理解・実行するのであれば、小学生と同じだ。学校の先生から「身の回りをキチンと片付けなさい」と言われているのと同じである。我々は社会人、そしてビジネスマンであるとすれば、この言葉の真の目的を理解しなければならない。それは...「5S活動」の究極的目的は、『今何をすべきか』を問い質している...と言うことに他ならないと思っている。

どういふことだろうか？ 少し考えてみた。

整理すると、必要なものが明確になる。机の上やカバンの中が乱雑な人は、必要なものが明確でないのだから、仕事も「雑」ということだろう。整理することの第一の目的は、必要なものと不要なものを分けることだ。今は不要でもいずれ必要になるものは、別の場所に保管する。こうして、机の上・かばんの中には、「今必要なもの」だけが、充実してそろっている状態を作り出すことだろう。

このように、今の仕事に必要なものだけが目の前に残る結果、「今何をすべきか」が、具体的に資料やものの形で見えるようになるはずである。つまり、整理するということは、仕事を明確化することと同意語ということである。

たとえばこんなことにも影響してくる。

情報過多のIT、Web化時代、いかに価値情報を活かし、いらぬ情報を排除、削除していくか、活性化した、高度化したビジネスマンになるか否かの分岐点であろう。

やれスマートフォンだ、iPad3(アイパッド 3)だ、クラウド活用だと、最新鋭のテクノロジーに翻弄され、ストレスがたまり、精神衛生上も好ましくない。

でもたとえば、「今自分は、何をすべきか、何をしなければいけないのか」が明確であれば、決して惑わず、機種や技術の選択・実行は単純明快になってくるはずである。

こんな発想が起点にあれば、情報のファイリングも自(おのずか)ら整理され、必要な情報が瞬時に検索できるはずである。

メールはやらない、エクセルはできません...は、さすがにこのご時勢、通用しない。

時流に乗り遅れた、進化の止まった過去の人かもしれないが、最新鋭の便利なITを、ツールとしてうまく活用できる手法は、是非とも身に着けたいものである。

そのためには情報化時代の「5S活動」、心の準備と活用技術の習得は、必要十分条件といっても過言でない。

いつまでも片付けられない小学生のあなた！ あなたの机の上、身の回り、そして外付けハードディスクやPC(パソコン)メモリーの中身は...、どうなっていますか？